

## 教育課程編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー:CP)

カリキュラム・ポリシー（CP）とは教育課程編成・実施方針のことを言い、教育の目的、上のDPを達成するために全学、各学科がそれぞれ教育課程の方針、カリキュラムを設定しています。

### ●全学共通科目

全学共通科目は、専門教育の基礎の修得、および専門的職業人および社会人として求められる教養を身につけることを目的とした「教養科目」および「基礎科目」を設置する。

○教養科目・・・「教養科目」は、①学部における専門教育の基礎となる科目および②福祉社会の担い手となる専門的職業人として、また現代を生きる社会人として求められる教養を身につけることを目的とした科目群であり、「人文科学」、「社会科学」、「自然科学」および「総合科目」に関する科目を開設する。

○基礎科目・・・「基礎科目」は、①新入学生が大学での学習に速やかに移行するための導入教育、②現代の情報社会に対応するための情報リテラシー教育、③国際化社会に対応するための語学教育および④生涯を通じた健康の維持・増進のための知識と技術を身につける健康教育に関する科目群で構成され、「必須外国語」、「選択外国語」、「情報処理」、「健康科学」および「基礎ゼミ」を開設する。

### ■公共社会学科 教育課程編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー:CP)

人間社会学部公共社会学科では、教育目標を達成するために、以下の方針に基づき、教育課程を編成し、実施する。全学共通科目から47単位以上、専門教育科目から69単位以上およびこれら2つの科目群の枠組みにとられない自由選択科目として12単位以上、合計128単位以上を修得する。

#### 全学共通科目

全学共通科目は、専門教育の基礎の修得、および専門的職業人および社会人として求められる教養を身につけることを目的とした「教養科目」および「基礎科目」を設置する。

○教養科目・・・全学共通科目 CP

○基礎科目・・・全学共通科目 CP

#### 全学横断型科目

地域における保健・医療・福祉の諸課題に、主体性をもって他者と協働して課題を解決できる実践的能力の向上を目的として、両学部で学べる全学横断型科目を配置する。

#### 専門教育科目

専門教育科目は、公共性の視点に立ち、時代が要請し期待する様々な課題解決に応じていくことのできる人材の養成を目的として、「公共社会学基礎論」「社会調査・情報処理」「地域社会ネットワーク」「アジア国際共生」「関連科目」の5つの科目群で構成する。

○公共社会学基礎論・・・公共性の基礎論となる科目を配置する。

○社会調査・情報処理・・・時代が要請し期待する様々な課題解決に対応する能力を証明する社会調査士、上級情報処理士の資格取得に関連する科目を配置する。

○地域社会ネットワーク・・・地域社会の現状分析と自立・協働・持続可能な地域社会運営のあり方を学ぶための科目を配置する。

○アジア国際共生・・・グローバル化する国際関係をふまえた共生のあり方を学ぶための科目を配置する。

○教職に関する専門教育科目・・・高等学校教諭1種免許状（公民）・中学校教諭1種免許状（社会）の取得に関連する科目を配置する。

○関連科目・・・公共性の視点に関連する哲学、歴史、法律、教育に関連する科目を配置する。総合人間社会コースの科目は、福祉社会において様々な現場で役に立つ専門的な知識やスキルを身につけることを目的として配置する。

○公共社会学研究Ⅰ・Ⅱ、卒業論文・・・公共社会学科における学びの集大成として、専門知識（DP2）、論理的思考・判断力（DP3）、表現力（DP4）、挑戦力（DP5）、社会貢献力（DP6）、専門分野のスキル（DP10）を身につけるための「公共社会学研究Ⅰ・Ⅱ」と「卒業論文」を3、4年次に配置する。

※「全学共通科目」「専門教育科目」には、高等学校教諭1種免許状「公民」、中学校教諭1種免許状「社会」、社会教育主事任用資格（基礎資格）の取得に必要な科目を配置する。

### ■社会福祉学科 教育課程編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー:CP)

人間社会学部社会福祉学科では、教育目標を達成するために、以下の方針に基づき、教育課程を編成し実施する。全学共通科目から47単位以上、専門教育科目から69単位以上およびこれら2つの科目群の枠組みにとられない自由選択科目として12単位以上、合計128単位以上を修得する。

#### 全学共通科目

全学共通科目は、専門教育の基礎の修得、および専門的職業人および社会人として求められる教養を身につけることを目的とした「教養科目」および「基礎科目」を設置する。

○教養科目・・・全学共通科目 CP と同じ

○基礎科目・・・全学共通科目 CP と同じ

#### 全学横断型科目

地域における保健・医療・福祉の諸課題に、主体性をもって他者と協働して課題を解決できる実践的能力の向上を目的として、両学部で学べる全学横断型科目を配置する。

#### 専門教育科目

社会福祉学科の専門教育科目は、さまざまな生活上の困難をかかえる人々を支援し、その問題解決のために必要な制度・政策、そして具体的援助方法を学ぶことを目的として、「基幹科目」、「社会福祉専門科目」、「精神保健福祉専門科目」、「学校ソーシャルワーク専門科目」、「関連科目」の5つの科目群で構成する。

○基礎科目・・・社会福祉学の基盤となる概念、歴史、法制度や相談援助の理論と方法など、4年間の学びの基幹となる科目で構成する。また、社会福祉学科における学びの集大成として、論理的思考・判断力 (DP3)、表現力 (DP4)、能動的学修力 (DP5)、専門的技能・分析力 (DP10) を身につけるため、「社会福祉学演習」および「卒業論文」を3、4年次に配置する。

○社会福祉専門科目・・・児童福祉、老人福祉、障害者福祉などの分野別の講義科目等と、相談援助の技術を実践的に学ぶ演習および実習関連の科目で構成する。

○精神保健福祉専門科目・・・精神保健福祉分野の講義科目と、精神保健福祉援助の技術を実践的に学ぶ演習および実習関連の科目で構成する。

○学校ソーシャルワーク専門科目・・・学校ソーシャルワークに関連する講義科目と、学校ソーシャルワークの技術を実践的に学ぶ演習および実習関連の科目で構成する。

○関連科目・・・社会学や心理学等、社会福祉学を学ぶ上で重要となる関連科目を配置する。総合人間社会コースの科目は、福祉社会において様々な現場で役に立つ専門的な知識やスキルを身につけることを目的として配置する。

※社会福祉士および精神保健福祉士国家試験受験資格ならびにスクール（学校）ソーシャルワーク教育課程修了資格の取得に関連する指定科目を配置する。

#### ■人間形成学科 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：CP）

人間社会学部人間形成学科では、教育目標を達成するために、以下の方針に基づき、教育課程を編成し実施する。全学共通科目から47単位以上、専門教育科目から69単位以上およびこれら2つの科目群の枠組みにとらわれない自由選択科目として12単位以上、合計128単位以上を修得する。

#### 全学共通科目

全学共通科目は、専門教育の基礎の修得、および専門的職業人および社会人として求められる教養を身につけることを目的とした「教養科目」および「基礎科目」を設置する。

○教養科目・・・全学共通科目 CP と同じ

○基礎科目・・・全学共通科目 CP と同じ

#### 全学横断型科目

地域における保健・医療・福祉の諸課題に、主体性をもって他者と協働して課題を解決できる実践的能力の向上を目的として、両学部で学べる全学横断型科目を配置する。

#### 専門教育科目

専門教育科目は、人間の心身の形成過程と教育およびその諸問題に関する総合的な研究・教育を行い、保育・幼児教育または生涯にわたる心理臨床などに携わる専門的な人材を育成することを目的として、「基幹科目」、「展開科目」、「関連科目」の3つの科目群で構成する。

○基幹科目・・・人間形成学科の各コースに共通する教育学、心理学および保健学に関わる基礎的・基本的な科目群で構成する。

○展開科目・・・こどもコースにおいては、保育・幼児教育に関する専門的な科目、心理コースにおいては人間のこころの理解および心理的援助に関わる専門的な科目を配置する。

○関連科目・・・人間形成学科のいずれのコースにおいても共通して学ぶことが望ましいと思われる、社会教育に関する科目を配置する。総合人間社会コースの科目は、福祉社会において様々な現場で役に立つ専門的な知識やスキルを身につけることを目的として配置する。

○演習、卒業論文・・・人間形成学科における学びの集大成として、専門知識 (DP2)、論理的思考・判断力 (DP3)、表現力 (DP4)、挑戦力 (DP5)、専門スキル (DP10) を身につけるための「演習」と「卒業論文」を3、4年次に配置する。

※「全学共通科目」および「専門教育科目」には、幼稚園教諭1種免許状、保育士資格、認定心理士資格の取得に必要な科目を配置する。

#### ●看護学部看護学科 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：CP）

看護師国家試験受験資格に関する指定規則に基づき、全学共通科目から20単位以上、専門基礎科目から10単位以上、専門科目から90単位以上及びこれらの科目群の枠組みにとらわれない自由選択科目8単位以上、合計128単位以上を修得する。

#### 全学共通科目

全学共通科目は、専門教育の基礎の修得、および専門的職業人および社会人として求められる教養を

身につけることを目的とした「教養科目」および「基礎科目」を設置する。

○教養科目・・・全学共通科目 CP と同じ

○基礎科目・・・全学共通科目 CP と同じ

#### 全学横断型科目

地域における保健・医療・福祉の諸課題に、主体性をもって他者と協働して課題を解決できる実践的能力の向上を目的として、両学部で学べる全学横断型科目を配置する。

#### 専門基礎科目

専門基礎科目は、ホリスティック（全人的）な人間理解のもとに統合機能システムとしての人体を理解し、人間の本来持つ自然治癒力に焦点をあてたホリスティックケアができる能力を育成する科目として、「人間の見方と健康」と「人間と保健・医療」の2つの科目群を設定する。

#### 専門科目

専門科目は、多面的・多角的な視点で、生活者としての人間をホリスティックに捉え、かつ、他職種と協働していく中で、看護の専門性・独自性を発揮し、看護を提案・実践できる能力の育成及び看護の役割を自覚し、将来看護学の発展に寄与できる能力の育成を目的として、「基盤看護学系科目」、「臨床看護学系科目」、「ヘルスプロモーション看護学系科目」、「看護の総合力と研究能力を身につける科目」の4つの科目群を設定し、学習の効果が最大限に上がるように講義終了後に、演習や臨地実習を積み重ね方式で配置している。

○基盤看護学系科目・・・看護の基盤形成と育成のための基礎能力を身につける科目と看護の基礎的な技術力を強化する科目群－実験看護学、基礎看護学、臨床機能看護学

○臨床看護学系科目・・・看護実践の理論的根拠と技術の修得及び看護の展開能力を育成するための科目群－精神看護学、成人看護学、老年看護学、女性看護学、小児看護学

○ヘルスプロモーション看護学系科目・・・ヘルスプロモーションの理念に基づく看護実践の理論的根拠と技術の修得及び看護の展開能力を育成するための科目群－在宅看護学、公衆衛生看護学

○「看護の総合力と研究能力を身につける科目」・・・看護学部における学びのゴールとして、社会人になる前に、これまで身につけた専門知識、論理的思考、判断力、表現力、挑戦力、社会貢献力、コミュニケーション力、専門分野のスキルなどを再確認し、これらの能力を統合・定着させるための科目を3、4年次に配置する。これらの科目には「統合実習」、「専門看護学ゼミ」及び「卒業研究」があり、少人数制とし、専門領域の研究手法と、自ら計画し行動する最終段階の科目として設定する（必修科目6単位）。

※「専門基礎科目」および「専門科目」において保健師国家試験受験資格、養護教諭一種免許取得するための必要な科目を配置する。

### 【大学院】

#### 人間社会学研究科 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：CP）

##### 【社会福祉専攻】

社会福祉専攻では、教育目標を達成するために、以下の方針に基づき、教育課程を編成し実施します。必修科目 10 単位（フィールドワークを選択に変えれば8単位）を含めて、合計 30 単位以上を修得する必要があります。ただし、他専攻科目から4単位まで、修了要件として単位認定できません。社会福祉専攻は、高度で実践的な社会福祉専門職を養成するために、「社会福祉分野」「地域社会分野」の2分野から構成されています。社会福祉専攻の教育課程は「コア科目」のほか、「社会福祉分野」および「地域社会分野」の科目群から構成されています。「コア科目」は、フィールドワークおよび特別研究から編成され、フィールドワーク（実習）を通じて、社会福祉専門職としての実践性を高め、福祉活動の発展に寄与できるようになること、また、特別研究を通じて、文献や調査等から、社会福祉に関する課題を設定し、社会福祉に関する問題を客観化させるための手法を身につけることを目的に配置する科目群です。「社会福祉分野」は児童、障害者、高齢者を中心として、地域における種々の生活問題を抱える人々の支援に必要な知識を理解し、社会福祉の価値をベースとして、生活問題を抱える人々の実情に応じた支援方法を提案できること、さらに社会福祉の学術的手法を用いて抽出された諸問題について、自分の考えを適切に表現できることを目的に配置する科目群です。「地域社会分野」は地域社会分野の授業科目や他専攻科目の授業を通じて、生活問題を抱える人々を支援するために有用な隣接学問に関する知識を理解することを目的に配置する科目群です。

##### 【心理臨床専攻】

心理臨床専攻では、教育目標を達成するために、以下の方針に基づき、教育課程を編成し実施します。必修科目 20 単位、選択必修科目（A～E群）からそれぞれ2単位以、計 10 単位以上合計 32 単位以上を修得する必要があります。ただし、他専攻科目から2単位まで、修了要件として単位認定できます。心理臨床専攻は、心理学全般の領域を関連付けながら、心理臨床に関する知識技能を深め、心理的支援を必要とする人に対するカウンセリングなどの実践能力を身につけ、さらに他職種とも連携する能力をもつ臨床心理士を養成することを目的としています。本専攻の教育課程は、

「必修科目」と A ～ E 群からなる「選択必修科目」で構成されています。「必修科目」は、心理臨床に関わる専門的知識を身につけるために、臨床心理学に関わる基礎的・基本的な科目群、ならびに心理面接の基礎的な技能を習得するための臨床心理基礎実習（1年次）と学内実習施設と学外実習機関で行う臨床心理実習（2年次）、さらに修士論文の作成を総合的に支援する特別研究（1・2年次）から構成されています。「選択必修科目」は A 群の心理学や臨床心理学の研究法に関する科目群、B 群の心理学の各分野に関する科目群、C 群の社会関係に関する科目群、D 群の医療や障害に関する科目群、E 群の臨床心理学の技術に関する科目群から構成されています。「必修科目」および「選択必修科目」には臨床心理士受験資格の取得に必要な科目を配置しています。

### 看護学研究科教育課程編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー:CP)

看護学研究科では、教育目標を達成するために、以下の方針に基づき、教育課程を編成し、実施します。専門必修科目から 6 単位、共通選択科目から 8 単位、看護学分野専門科目から 16 単位以上、計 30 単位以上(がん看護専門看護師コースは 36 単位以上、精神看護専門看護師コースは 42 単位以上、老年看護専門看護師コースは 43 単位以上、助産学研究コース 30 単位以上、助産実践形成コースは 58 単位以上、助産実践アドバンスコース 30 単位以上)を修得します。

看護学専攻は、「基盤看護学領域」、「ヘルスプロモーション看護学領域」、「臨床看護学領域、助産学領域」の 4 つの専門領域から構成される本専攻の教育課程は「専門必修科目」、「共通選択科目」、「看護学分野専門科目」から編成されます。「専門必修科目」は看護学の基盤として、看護理論、看護倫理、看護研究法について、学修する科目群です。「共通選択科目」は学際的な知識を俯瞰するために、コンサルテーション論、英語文献講読特論などについて学修する科目群です。「看護学分野専門科目」は、看護学に関して専門的に学修し、看護現象を科学的及び専門的な視点から捉え、看護学に関する専門知識に基づく看護活動やその支援の在り方について学修する科目群です。